

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-225	小学校	道徳	道徳	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208光文	道徳117	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん		

## 1 編修の基本方針

### ゆたかな心で 未来にはばたく

「人間の根源的な生きる喜び、人としてのよさに触れた時、  
感動が生まれる道徳の授業をつくる」

「一人でも多くの子どもたちを、ゆたかな心の学びの世界へ誘いたい」

私たちは、児童と教師が共によりよく生きたいと願い、真剣に考え学び合うための一助となる教科書を作りたい、その一心で編修にあたりました。本教科書では、教育基本法第2条に示された目標を踏まえ、「育てたい子どもの姿」と「編修の基本方針」を次のように設定しました。

### 育てたい子どもの姿

自分を見つめ、  
深く考える

人間のよさを追い求め、  
たくましく自分の生き方を  
考え続ける子ども

へこんでも  
立ち直る

物事を多面的・  
多角的に考える

自ら、  
問いをもつ

### 編修の基本方針

1

深く考えることができる教科書

2

答えが一つではない課題を考えることができる教科書

3

現代的な課題に向き合うことができる教科書

4

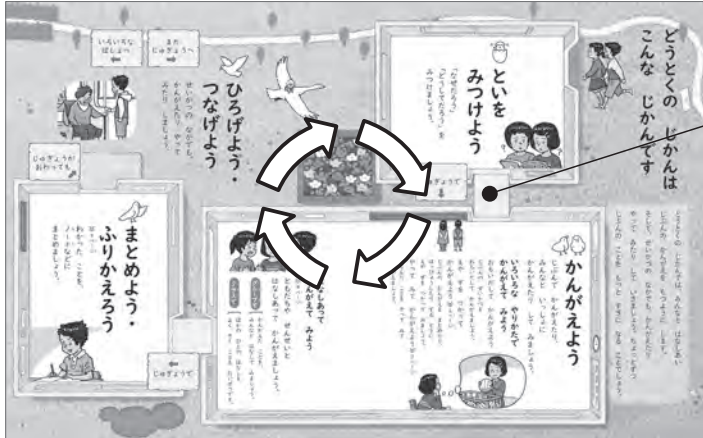
子どもたちが豊かな生活を送るパートナーとなる教科書

# 1 深く考えることができる教科書

学びの流れを視覚化し、児童自らが見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるようにしました。

## ① 学習の流れを明示

巻頭のオリエンテーションページで、道徳の1時間の授業の流れや学び方を明示しています。また、道徳での学習と日常生活とのつながりを図式化し、児童が主体的に学び、日常生活に生かすことができる授業となるよう工夫しました。



道徳の授業で考えたことを日常生活に生かし、さらに生活の中で生まれた問いをもって道徳の授業で考えるという流れを実現します。

どうとくの じかんは こんな じかんです(p.4~5)

## ② 重点主題の設定

特に考えさせたい内容については、「重点主題」として複数時間構成としています。複数時間にするすることで、同じテーマを多角的な視点から考えたり、学びをさらに深めたりすることができます。各学年とも、次の3つのテーマを提案しています。



いじめを生まない心【全学年】

「いじめ防止」といった課題について、発達段階を踏まえ6年間の見通しをもって取り組むことができます。



命をかがやかせる【全学年】

「生命の尊さ」を軸に、命をかがやかせて生きる児童を育てます。



へこんでも立ち直る力【1・2年】



みんなで力を合わせて【3・4年】



世界中のいろいろな人とつながるために【5・6年】

「人間」「人間関係」を主とした学年独自のテーマを設定しています。

### 1 扉ページ



いじめを うまない ころ「おなじ ばしょに いろいろなひと」(p.65)

### 2 教材①



18 ぶうたの やくめ (p.66~69)

扉ページでは、重点主題を貫く問いを投げかけ、問題意識をもたせます。

### 3 教材②



19 やさいむらの こどもたち (p.70~73)

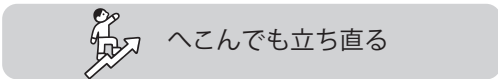
連続的に扱うことで、より一層確かな効果を得ることができます。

### ③ 体験的な活動の工夫

体験的な活動を通して、より深い学びが引き出せるようにしました。特に、豊かな人間関係を養い、自己肯定感を高め、くじけてしまうことがあっても立ち直ることができる児童の育成を目指し、全学年を通して次のコラムを設定しています。



実際の問題場面を想定した活動を通して、よりよい人間関係の構築につなげます。



児童が自身のもつ心の力に気づく活動を通して、生きる力を育みます。



へこんでも たちなおる「じぶんの よい ところを みつけよう」(p.116～117)

## 2 答えが一つではない課題を考えることができる教科書

道徳での学びの広がりイメージできるように紙面構成を工夫し、考えを広げたり深めたりするためのさまざまな視点をもてるようにしました。

### ① 内容項目の可視化

巻頭のオリエンテーションページで、各内容項目を児童に理解しやすい表現で紹介するとともに、「自分⇒他者⇒社会⇒生命・自然」へと広がる4つの視点の相互の関連性と発展性をイメージしやすくしました。巻末の「内容項目別 教材一覧」には、主たる内容項目に加え、関連性のある内容項目も明示し、教師がさまざまな観点から授業のねらいに迫れるようにしています。

育てたい児童の姿を提示することで、児童自身が「なりたい自分」をイメージできるようにし、自己を見つめ、自分自身の答えを見つけられる児童の育成につなげています。

児童に寄り添うキャラクターを設定し、気づきや考えるためのポイントとなる問いかけを行うことで、多様な感じ方・考え方を実感できるようにしています。



ゆたかな ころろ (p.2～3)

### ② 考えるためのヒント

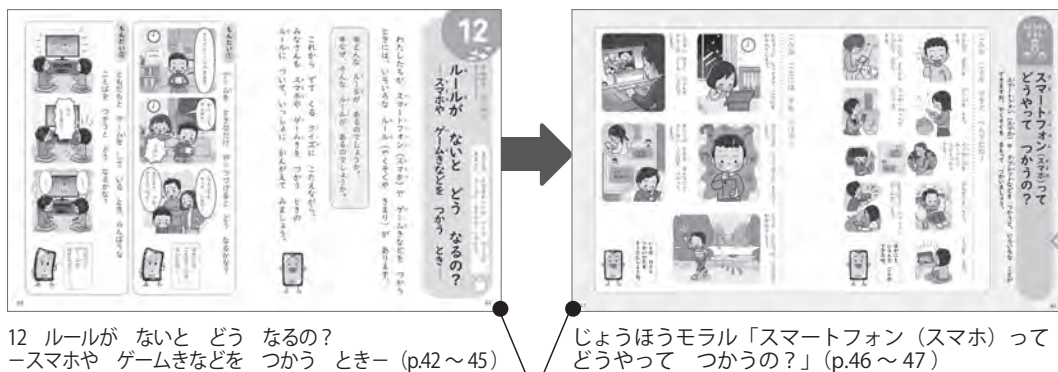
教材の最後には「かんがえよう」として、中心発問に加えて、視点が異なる発問を掲載しています。多面的・多角的に考えるためのヒントとして活用することができます。

## 3 現代的な課題に向き合うことができる教科書

「情報モラル」「いじめ」「持続可能な発展」については、これからの時代を生きていく児童自身の問題としてとらえられるように、特に重要な課題として、全学年で取り上げています。

## ① 情報社会を生きる

身近な話題を通して、情報モラルが学べる教材やコラムを全学年に配置しました。学校教育でのタブレット端末使用に伴い、タブレットの利用を前提としています。また、スマートフォンの利用については第1学年から取り扱うことで、より実社会に即した内容としています。



12 ルールがないとどうなるの？  
-スマホやゲームなどをつかうとき- (p.42~45)

じょうほうモラル「スマートフォン（スマホ）って  
どうやってつかうの？」 (p.46~47)

教材とコラムをつなげて扱うことで学習効果が高まります。

## ② いじめを生まない心

いじめの防止や安全の確保といった課題については、「重点主題」として設定しています。また、各内容項目の教材において、他者のよさを認める心、差別や偏見をもたずに分け隔てなく接する心を扱った教材を通して、「いじめを生まない心」を育むことができるように配慮しています。

## ③ みんなでつくる「わたしたちの未来」

持続可能な発展をめぐる課題については、全学年にコラムを設定し、SDGsの17の目標の紹介とともに、発達段階を考慮しながら道徳の学習内容に関連した目標を取り上げています。児童一人ひとりが当事者意識をもって、道徳で学んだことを生かし、自分ごととして考え行動していけることを目指しています。



みんなで作る「わたしたちの未来」 (p.132~133)

# 4 子どもたちが豊かな生活を送るパートナーとなる教科書

いつでも手にとって繰り返し読める魅力的な教材を豊富にそなえるとともに、1時間ごとの学びをふり返り、児童が自身の変容や成長を実感できるようにしました。

## ① ことばのたからもの

児童に贈ることばとして相田みつをさんの書を掲載しました。1年間の道徳の学習をふり返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるようにしました。



ことばのたからもの (p.154~155)

## ② 学びの足あと

児童が自らの学習状況を確認する手立てとして、自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。最初に「なりたい自分」を記述することで、目標をもって学習に取り組める工夫をしています。

積み重ねてきた記録を一覧できるので、これまでの自分を見つめ直したり、その時の気持ちや考えを思い起こしたりすることが可能です。

## 2 対照表

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所
A 主として自分自身に関すること	16	ぼくは いかない	身近な事例をもとに、積極的に行うべきよいことと、してはならないことを正しく区別できる判断力を養えるようにしました。(第3号)	p.58 - 59
	28	ひつじかいと おおかみ		p.102 - 106
	11	きんの おの	うそやごまかしをしないことが、健やかな生活に結びつくことを実感できるようにしました。(第1号)	p.38 - 41
	24	おつきさまが みて いる		p.90 - 91
	5	あおしんごう		p.20 - 21
	10	かぼちゃの つる	日常のさまざまな場面を題材に、児童自らがどうしたらよいかを考えることから基本的な生活習慣を身につけ、よりよく生きようとする心と態度を培っていきけるようにしました。(第1号)	p.34 - 37
	14	ちゃんとの たつじん		p.52 - 55
	20	うわばきぶくろ		p.74 - 75
	29	ぼくにも あるかな	自分の特徴を理解し個性を伸ばして長所とすることで、よりよく生きる喜びにつながるようにしました。(第2号)	p.108 - 111
	35	おにいちゃん ありがとう		p.134 - 137
	30	一にち 十ぱん	やり遂げる素晴らしさや達成感を感じ取ることでできる教材を通して、創造性をもってやるべきことをしっかりやり抜こうとする心と態度を養えるようにしました。(第2号)	p.112 - 115
B 主として人との関わりに関すること	15	ぼく、もちます	擬人化した動物を登場人物とした物語を取り上げ、低学年の児童に思いやりや友情の大切さを分かりやすく伝えられるようにしました。(第1号)	p.56 - 57
	23	はしの うえの おおかみ		p.86 - 89
	4	がっこうたんけん	友達や先生、上級生、地域の人など、学校生活の中で接する多くの人を取り上げ、感謝の気持ちと思いやりの心をもって学校生活を送ることができることをねらいとしました。(第2・3号)	p.18 - 19
	9	がっこうまでの みち		p.32 - 33
	2	あいさつで げんきに		p.12 - 13
	26	だいじな わすれもの	日本のオリンピック選手団の事例を紹介し、礼儀を基盤とした日本の特色に触れることで、礼儀正しい日本人の特色を感じられるようにしました。(第5号)	p.96 - 97
	36	スポーツと おじぎ		p.138 - 139
	1	みんなで たのしく	友達関係を描いた教材をもとに、よりよい人間関係を築くうえでの基礎となる、豊かな心を養えるようにしました。(第1号)	p.10 - 11
	32	二わの ことり		p.122 - 125
C 主として集団や社会との関わりに関すること	3	みんなで まもろう		p.16 - 17
	12	ルールが ないと どうなるの？ -スマホや ゲームき などを つかう とき-	学校生活を中心に、児童の活動範囲の中で示されるきまりや約束事を取り上げ、公共の精神を養い、よりよい社会生活を送るための基盤を形成できるようにしました。(第1・3号)	p.42 - 45
	37	きいろい ベンチ		p.140 - 143
	18	ぶうたの やくめ	偏見をなくし、誰に対しても公正、公平な態度で接することのよさが実感できるよう、擬人化した動物を登場人物とした物語を取り上げ、低学年の児童が自分ごととして考えられるようにしました。(第4号)	p.66 - 69
	19	やさいむらの こどもたち		p.70 - 73
	17	そうじの じかんだ	学校での日々の活動を通し、みんなのために働くことのよさを感じられる教材を用意しました。(第2号)	p.62 - 64
	6	いっしょに するよ	家族の日頃の愛情を知り、家族の一員として積極的に家族と関わろうという実践意欲を育む教材を通して、自他の敬愛と協力を重んじ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1・3号)	p.22 - 24
	31	ぎんの しずく		p.118 - 121
	21	すてきな ことば「あふたあ ゆう」	毎日の学校生活をふり返し、先生を敬愛し、みんなとともに楽しく過ごせるよう自分にできることを考え、学校の一員として個人の価値を尊重し、協力してよりよい学校生活を気づいていく意識を高められるようにしました。(第2・3号)	p.76 - 78
	34	もうすぐ 二ねんせい		p.130 - 131
	13	まちたんけん	自分の住む町のよさや、伝統的に行われている行事を取り上げた教材をもとに、伝統文化や郷土を敬愛する気持ちを高められるようにしました。(第5号)	p.48 - 51
	22	もみじがり		p.80 - 83
	27	エマさんの こたえあわせ	海外からの転入生とのやりとりから日本と他国の違いに触れ、他国に対する興味を喚起するとともに、他国文化を尊重する精神を育成するようにしました。(第5号)	p.98 - 101
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	7	みんな みんな いきて いる		p.26 - 29
	8	おたんじょうび れっしや	かけがえのない命の大切さを知り、生きることの喜びについて考えることを通して、命についての大切さ、尊厳を実感できるようにしました。(第4号)	p.30 - 31
	38	さるの おかあさん・サヤカ		p.144 - 148
	25	ウォルト・ディズニー -どうぶつと いっしょに-	身近な動物や自然と触れ合う素晴らしさを伝える教材から、動植物や自然を大切にすることを育成するようにしました。(第4号)	p.92 - 95
	39	うちの ねこ		p.150 - 151
	33	ひしゃくぼし	大自然など美しいもの、気高いものに触れ、素直に感動する心を大切に、それらを求める心が児童自身の心の中にあることを自覚できるような教材を用意しました。(第1号)	p.126 - 129
	40	なるとの うずしお		p.152 - 153
全般	巻頭	ゆたかな こころ	道徳の授業でどのような学習をしていくかを説明し、児童が自らの生活をふり返ることで課題をもって学習に取り組み、学んだことを生活に生かせるようにしました。(第1号)	p.2 - 9
	コラム	みんなで つくる 「わたしたちの みらい」	これからの時代を生きる児童にとって、幅広い知識と教養を身につけ、個人の価値を尊重し、男女の平等を目指し、自他の敬愛と協力を大切にするとともに、生命を尊び、自然を大切に、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう、SDGs についてのコラムを用意しました。(第1・2・3・4・5号)	p.132 - 133
	巻末	ことばの たからもの	児童の学びの支えとして言葉のもつ力を知り、それが今後の学びに生きるものであることを実感できるようにしました。(第1号)	p.154 - 155
	巻末	まなびの あしあと	授業の記録から学習の定着を図り、自己の成長をふり返ることができるように配慮しました。(第1号)	折り込み

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-225	小学校	道徳	道徳	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208光文	道徳117	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

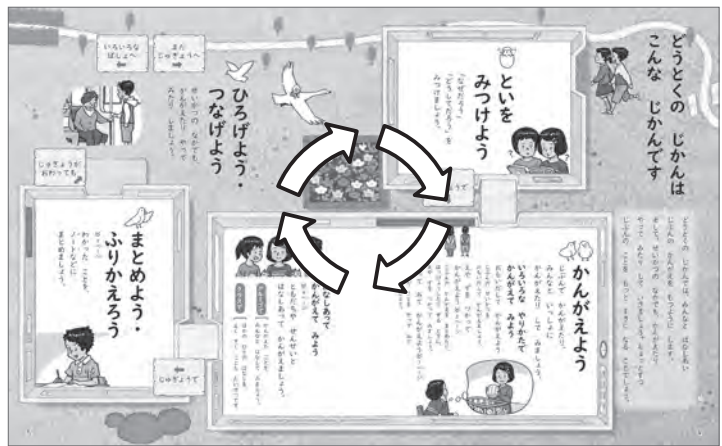
### 1 問いをもって主体的に考えられる学習展開・発問の工夫

#### ① 学習の流れを明示

巻頭のオリエンテーションでは「道徳の時間は、こんな時間です」(p.4～5)を配置しました。

道徳の学習が、他教科の学習や学校行事、日常生活などへつながり、また日常生活の中から問いを見つけ、道徳の学習へ返っていくというスパイラルを表しました。

どうとくの じかんは こんな じかんです (p.4～5)



#### ② 問いをもち、主体的に考えられる学習展開・発問

各教材には、冒頭に「導入」、最後に「かんがえよう(展開)」「まとめよう(終末)」「ひろげよう(発展)」を設置し、1時間の授業のねらいや流れを明確にしました。

**【展開】**

共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広げるための見方など、さまざまな「投げかけ」を行うことで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにしました。多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促すよう考慮しました。

2 あいさつで げんきに (p.12～13)

**【導入】**

主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしました。

**【思考ツール】**

「いろいろなやり方で考えてみよう」(p.6～7)の中で、思考ツールを提示し、自分の考えを視覚化し、学習した内容をまとめ、自信をもって発言できるようにしました。

**【終末】**

学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「分かったこと」「学んだこと」や今後の課題について考えられるようにしました。導入で問題意識をもって学習に臨み、終末で学習内容を振り返ることによって、授業開始時と終了時における変容が実感できるようにしました。

**【発展】**

道徳の学習で学んだことが、他教科の学習や家庭生活、地域社会へとつながるように課題やポイントを提示しました。他教科との関連をもたせた指導を有効に行うことができるよう、学習時期も配慮した配列にしました。

## 2 これからを生きる児童に対応した現代的な課題

### ① 現代的な課題への対応

現代的な課題への対応については、特に重要なテーマとして、次の5つを重点的に取り扱っています。児童が自分ごととして考えられるような教材を精選して掲載しました。

#### 生命・自然

「生命の尊さ」については、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びにつながるような教材を選定しました。また、「自然」については、動植物や自然を大切に、積極的に環境保全に寄与する態度につながる教材を選定しました。



8 おたんじょうび れっしゃ (p.30~31)

生命の尊重 自然 環境 SDGs

#### いじめ・情報モラル

「いじめ」については、児童にとって喫緊の問題であるにとらえ、各内容項目の教材において、直接的・間接的に考えられる教材を選定しました。また、「情報モラル」については、情報社会で適切な活動を行うためのものとなる考え方や態度を養える教材を選定しました。

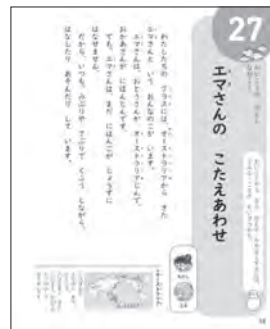


18 ぶうたの やくめ (p.66~69)

いじめ 情報モラル 知的財産に関する教育

#### 人権・共生

さまざまな違いがある人々が、互いの多様性を認め合いながら共に生きる社会について、実感をもって考えられる教材を選定しました。



27 エマさんの こたえあわせ (p.98~101)

人権 平和 障がい共生  
多文化共生 LGBTQ

#### 安全・健康

自他の安全に配慮した行動をとったり、自ら危険な環境を改善したり、健康で福祉的な生活が送れるような意欲や態度につながる教材を選定しました。



16 ぼくは いかない (p.58~59)

安全防災 食育 健康  
世界的危機管理

#### レジリエンス

急速な社会の変化の中で、一人ひとりの児童が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高めることの重要性を鑑み、全学年にレジリエンスコラムを設け、児童が自身の「心の力」について考えられるように工夫しました。

児童が自身のもつ「心の力」に気づく活動を通して、児童の生きる力を育み、よりよい人間関係の構築につながるようにしています。

1年	じぶんの よい ところを みつけよう	p.116~117
2年	元気 しなやか へこたれない	p.104~105
3年	「強み」を見つけよう	p.69
4年	「心の力」を育てよう	p.127
5年	立ち直り曲線	p.148
6年	レジリエンス -へこんでも立ち直る心の力-	p.88

### 3 「考え・議論する」 ことにつながる魅力的な教材

#### ① 多様な教材

学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材や、長く読み継がれてきた名作、人物の苦悩や努力など生き方から考える事実教材など、人間としての生き方に迫ることができる題材を選定しました。また、漫画形式や写真、一枚絵から考える教材など、多様な教材形式を取り入れています。

さらに、学校や地域の実態などに応じて弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2学年から第6学年は5本の選択教材を用意しました。



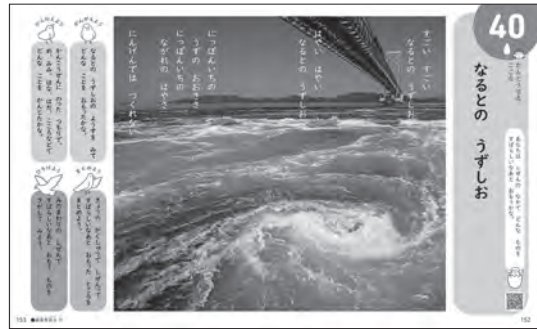
1 みんなで たのしく (p.10~11)



13 まちたんけん (p.48~51)



25 ウォルト・ディズニー (p.92~95)



40 なるとの うずしお (p.152~153)

地域に根づく伝統や文化、行事、先人など、児童にとって身近なものを題材とした教材を取り入れ、伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する態度を養うことにつながるよう配慮しました。特定の地域が題材になった教材であっても、どの地域においても活用できるよう、汎用性をもたせた構成となっています。

#### ② 効果的に活用できるデジタルコンテンツ

授業の導入や展開に活用できるオリジナル写真やインタビュー動画、教材に関連する動画や写真、ウェブサイトを、二次元コードを通して見られるようにしました。学習内容に広がりをもたせ、より深く理解できるように配慮しました。

【コンテンツの例】

p.26	みんな みんな いきている	音楽
p.34	かぼちゃの つる	動画
p.48	まちたんけん	写真
p.80	もみじがり	動画
p.152	なるとの うずしお	動画



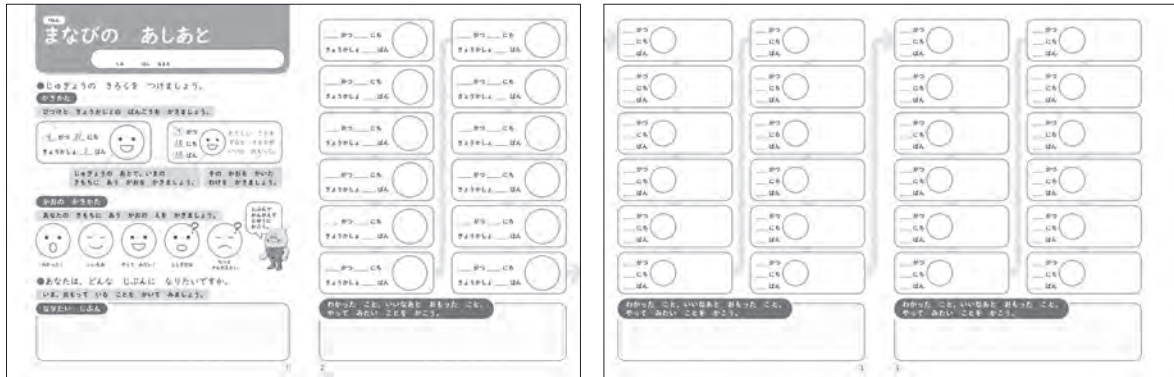
10 かぼちゃの つる (p.34)



# 4 児童の成長につながる評価とノート活用の提案

## ① 児童の成長につながる評価

児童が自身で学習後の振り返りができるように、巻末に自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。授業後の心の動きや学びを継続して記しておくことで、自らの成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組めるように配慮しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取することもできます。



オリエンテーションの「まとめよう・ふりかえろう」(p.9)では、ノートの使い方を紹介しています。自分の考えをまとめることや、授業内の心の動きを記し、児童の変化を記録できるようにしています。教師は児童の記述を通して、授業の改善につなげることができます。



# 5 すべての児童が使いやすい教科書

## 手に取りやすいAB判を採用

児童の負担感の軽減のため、AB判を採用し、軽量化を図りました。

## ジェンダー・セクシュアリティへの配慮

すべての児童が自己肯定感をもって学習や生活を創造していけるよう、登場人物の男女比やイラストの配色などを配慮しました。

## ユニバーサルデザイン

図版やグラフ等の配色は、専門家の目を通し、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。

本文や吹き出し、ルビなどに、見やすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、デジタル教科書でも読みやすい書体を採用しました。また、児童の読み取りに差異が生じないように第3学年まではすべての漢字にふり仮名をつけました。第4学年からは、当該学年以上の漢字には、ふり仮名をつけています。

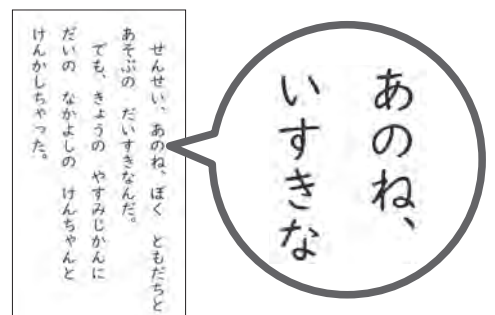
## 大きな写真やイラスト

写真やイラストが引き立つようにレイアウトし、児童の興味・関心や思考が深まるようにしました。

## 造本上の工夫

表紙・本文には、環境に配慮し、見やすくなるよう目に優しい色合いと不透明度を向上した紙を使用しました。また、印刷には、植物油インキを使用しました。

製本には針金を使用せず、表紙が丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢性も保ちながら環境にも配慮しました。



## 2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
		主たる内容項目	関連性のある内容項目		
巻頭	ゆたかな ころ	すべて		p.2 - 9	★
1	みんなで たのしく	B 友情、信頼	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.10 - 11	1
2	あいさつで げんきに	B 礼儀	A 正直、誠実	p.12 - 13	1
コラム	あいさつに ひとこと つけて		B 礼儀	p.14 - 15	★
3	みんなで まもろう	C 規則の尊重	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.16 - 17	1
4	がっこうたんけん	B 感謝	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.18 - 19	1
5	あおしんごう	A 節度、節制	C 規則の尊重	p.20 - 21	1
6	いっしょに するよ	C 家族愛、家庭生活の充実	C 勤労、公共の精神	p.22 - 24	1
扉	いのちの かがやき		D 生命の尊さ	p.25	★
7	みんな みんな いきて いる	D 生命の尊さ	B 親切、思いやり	p.26 - 29	1
8	おたんじょうび れっしゃ	D 生命の尊さ	A 正直、誠実	p.30 - 31	1
9	がっこうまでの みち	B 感謝	B 礼儀	p.32 - 33	1
10	かぼちゃの つる	A 節度、節制	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.34 - 37	1
11	きんの おの	A 正直、誠実	A 節度、節制	p.38 - 41	1
12	ルールが ないと どう なるの? -スマホや ゲームき などをつかう とキー	C 規則の尊重	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.42 - 45	1
コラム	スマートフォン(スマホ)って どうやって つかうの?		C 規則の尊重	p.46 - 47	★
13	まちたんけん	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.48 - 51	1
14	ちゃんとの たつじん	A 節度、節制	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.52 - 55	1
15	ぼく、もちます	B 親切、思いやり	B 感謝	p.56 - 57	1
16	ぼくは いかない	A 善悪の判断、自律、自由と責任	C 規則の尊重	p.58 - 59	1
コラム	ゆうきの とびら		A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.60 - 61	★
17	そうじの じかんだ	C 勤労、公共の精神	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.62 - 64	1
扉	おなじ ばしょに いろいろな ひと		C 公正、公平、社会正義	p.65	★
18	ぷうたの やくめ	C 公正、公平、社会正義	C 勤労、公共の精神	p.66 - 69	1
19	やさいむらの こどもたち	C 公正、公平、社会正義	B 友情、信頼	p.70 - 73	1
20	うわばきがくろ	A 節度、節制	B 感謝	p.74 - 75	1
21	すてきな ことば「あふたあ ゆう」	C よりよい学校生活、集団生活の充実	B 親切、思いやり	p.76 - 78	1
コラム	わたしたちの すてきな がっこう		C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.79	★
22	もみじがり	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	D 感動、畏敬の念	p.80 - 83	1
コラム	にっぽんの ぎょうじ 一ねんかん		C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	p.84 - 85	★
23	はしの うえの おおかみ	B 親切、思いやり	B 友情、信頼	p.86 - 89	1
24	おつきさまが みて いる	A 正直、誠実	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.90 - 91	1
25	ウォルト・ディズニー—どうぶつと いっしょに—	D 自然愛護	A 個性の伸長	p.92 - 95	1
26	だいじな わすれもの	B 礼儀	B 感謝	p.96 - 97	1
27	エマさんの こたえあわせ	C 国際理解、国際親善	B 友情、信頼	p.98 - 101	1
28	ひつじかいと おおかみ	A 善悪の判断、自律、自由と責任	A 正直、誠実	p.102 - 106	1
扉	いろいろな きもち		A 個性の伸長	p.107	★
29	ぼくにも あるかな	A 個性の伸長	C 家族愛、家庭生活の充実	p.108 - 111	1
30	一にち 十ぶん	A 希望と勇気、努力と強い意志	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.112 - 115	1
コラム	じぶんの よい ところを みつけよう		A 個性の伸長	p.116 - 117	★
31	ぎんの しずく	C 家族愛、家庭生活の充実	B 感謝	p.118 - 121	1
32	二わの ことり	B 友情、信頼	B 親切、思いやり	p.122 - 125	1
33	ひしゃくぼし	D 感動、畏敬の念	B 親切、思いやり	p.126 - 129	1
34	もうすぐ 二ねんせい	C よりよい学校生活、集団生活の充実	B 感謝	p.130 - 131	1
コラム	みんなで つくる「わたしたちの みらい」	すべて		p.132 - 133	★
35	おにいちゃん ありがとう	A 個性の伸長	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.134 - 137	★
36	スポーツと おじぎ	B 礼儀	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	p.138 - 139	★
37	きいろい ベンチ	C 規則の尊重	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.140 - 143	★
38	さるの おかあさん・サヤカ	D 生命の尊さ	D 自然愛護	p.144 - 148	★
コラム	みんな いっしょに いきて いる		D 生命の尊さ	p.149	★
39	うちの ねこ	D 自然愛護	D 生命の尊さ	p.150 - 151	★
40	なるとの うずしお	D 感動、畏敬の念	A 個性の伸長	p.152 - 153	★
巻末	ことばの たからもの	すべて		p.154 - 155	★
				合計時数	34

配当時数が★印の教材は、適宜扱う。